平成２８年第１回定例会　施政方針

平成２８年第１回印西市議会定例会の開催に際し、施政方針を申し上げます。

私が、市民の皆さまからの負託を受け、印西市長として市政の舵をとり、３年７か月が過ぎようとしておりますが、市長就任時より「市民からお預かりする貴重な税金を無駄使いせず、子育て、福祉、教育といった市民のための施策に還元する」という議員時代から変わらぬ姿勢において、市民の目線を第一に、常に市民が望むものは何かを考え、市政運営を進めてまいりました。

喫緊の課題への対策や公約実現のための具体的な取り組みを行い、私が思い描いているまちづくりに向け、前進するよう努めているところでございます。

中でも私の公約の第 1 番目に掲げた印西クリーンセンター次期中間処理施設の移転計画につきましては、昨年３月に建設候補地の「吉田区」と印西地区環境整備事業組合とで基本協定が締結され、当該組合に設置されました次期中間処理施設整備事業施設整備基本計画検討委員会及び地域振興策検討委員会において、施設整備基本計画及び地域振興策の審議が行われ、本年度末には、答申が提出される見込みでございます。その後は「吉田区」に答申内容を丁寧に説明し、合意が得られれば、整備協定が締結される予定であり、着実に事業が進捗しているものと考えております。

また、二次救急医療の整備につきましては、印西総合病院が一時休止しておりました夜間休日救急外来の受け入れを昨年６月から再開し、また７月１７日に千葉県から救急告示病院としての認定を受けたところでございます。今後とも市内の救急医療の充実のため、市内関係病院をはじめ、千葉県等関係機関との連携を密にしてまいりたいと考えております。

更に、小・中学校普通教室へのエアコン設置事業につきましては、小学校では平成

２７年度から平成２８年度までの継続事業として整備を行っており、中学校では今会期に提出させていただきました平成２８年度予算案に整備に要する経費を計上しており、同年度末には全ての小・中学校の普通教室へのエアコン整備を完了させる計画で進めております。

その他、山積する諸課題につきましても、解決に向け全力で取り組んでまいります。

そこで、私の平成２８年度の市政運営に対する所信の一端をここに申し上げ、議員各位をはじめ、広く市民の皆さまのご理解とご賛同を賜りたいと存じます。

さて、国内の社会経済情勢に注目いたしますと、内閣府が先月、公表した月例経済報告では、「景気は、このところ一部に弱さもみられるが、緩やかな回復基調が続いている。」として、先行きについては、「雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあって、緩やかな回復に向かうことが期待される。ただし、アメリカの金融政策の正常化が進むなか、中国を始めとするアジア新興国等の景気が下振れし、我が国の景気が下押しされるリスクがある。こうしたなかで、金融資本市場の変動の影響に留意する必要がある。」ともされております。

印西市におきましては、歳入面では、高齢化等による市税の伸び悩みや税制改正による法人市民税の減等の影響が懸念されており、さらに地方交付税では、市村合併に伴う普通交付税の特例措置分の段階的な縮減が平成２７年度から始まっており、財政運営に必要な一般財源総額の確保が年々難しくなる状況が見込まれております。

また、歳出面でも、高齢化の進展や福祉ニーズ等の増大に伴う扶助費等の社会保障関係経費の増加や、学校や道路など公共施設の維持管理及び改修費の増加が見込まれるとともに、学校給食センター整備事業などの普通建設事業費が財政運営に重い負担となることが見込まれております。

平成２８年度も各種事業を実施してまいりますが、そのためには財政基盤をしっかりさせていく必要があります。そのための１つの方策として、当市の立地優位性を活かし、優良な企業の誘致を進め、雇用の促進と、税収を安定させることがあげられま

す。

また、市民の皆様が、生涯いきいきと健やかに暮らせるよう、「健康長寿のまちづくり」を推進し、健康寿命を延ばすための取り組みを進め、併せて、医療費の抑制にもつなげていきたいと考えております。

このような、取り組みにより、市の魅力の向上を図り、定住人口や交流人口の増加につながる好循環を生み出し、将来のまちづくりに責任を持って、市政の舵取りを行う決意でございます。

それでは、新年度の市政運営の基本的姿勢について申し上げます。

現在、本市におきましては「ひと　まち　自然　笑顔が輝く　いんざい」を将来都市像と定め、６つの基本目標を掲げ、平成３２年度を目途に計画的なまちづくりを進めております。

来たる平成２８年度は、第２次基本計画の初年度に当たることから、目標年次の将来都市像の実現に向けた第一歩として確実に実行していくことが重要であります。

また、総合計画の中では、施策のひとつとして行財政改革の推進を位置付けており、計画期間を同一とする第５次印西市行政改革大綱も初年度となりますことから、関連する各種計画との整合性を図りながら行財政改革の取組を積極的に進める必要があります。

平成２８年度当初予算編成に当たりましては、将来にわたり財政の安定と健全性の確保を図るため、限られた財源の適正配分に努めるとともに、各事業について、実施効果を十分に検証し、総体的には市民サービスの向上に資することを念頭に、予算を編成いたしました。

各会計及び水道事業会計を合わせた平成２８年度当初予算の規模は、対前年度比７．０パーセント増の５２６億８千７５２万７千円でございます。

なお、平成２８年度予算の詳細につきましては、予算審議の際にご説明申し上げますので、ご了承願います。

続いて、平成２８年度の主要事業の概要につきまして、基本構想の６つの分野の基本目標に沿って申し上げます。

はじめに、基本目標１「恵まれた自然の中でやすらぎを持って生活できるまちをつくる」に関連するものについて申し上げます。

市将来都市像の環境面からの実現に向け、環境基本計画に掲げた環境の保全に関する施策を総合的かつ計画的に推進するとともに、市民の自然環境保全意識の高揚を図るため、自然を活用した観察会や体験学習会などを開催し、自然とふれあう機会を増やしてまいります。

また、環境負荷の低減に資する循環型社会の実現を目指し、市民へのごみ減量化意識の啓発活動の実施や小売店との協力体制の確立を図り、ごみの減量化・資源化を推進してまいります。

更に、地球温暖化の防止及び家庭におけるエネルギーの安定確保並びにエネルギー利用の効率化・最適化に資するため、太陽光発電システム等の住宅用省エネルギー設備の普及を進めるとともに合併処理浄化槽の普及による公共用水域の水質汚濁防止や不法投棄の防止に向けた環境づくりなどを引き続き進めてまいります。

また、来年度は市民がやすらぐうるおいのある快適な生活空間の形成を図るための印旛高校跡地を事業用地とした公園の整備、及び大規模災害により発生する災害廃棄物の処理体制を確立するための「災害廃棄物処理計画」の策定を進めてまいります。

防災対策につきましては、災害発生直後の混乱した状況下においても安定した避難所の開設・運営につながるよう施設や資機材の整備を進め、さらなる防災体制の強化を図るとともに、防災井戸の整備を進め、災害発生時の飲料水の確保に努めてまいります。

防犯対策につきましては、市内の道路における夜間の犯罪の防止及び歩行者の安全を図るため、計画的にＬＥＤの防犯灯の整備を推進するとともに、青色回転灯装着車両による市内巡回や防犯啓発活動を行い、市民の防犯意識の高揚を図ってまいります。

次に、基本目標２「やさしさを持っていきいきと暮らせるまちをつくる」について申し上げます。

まず、安心して子育てができる環境づくりでございますが、平成２９年４月に民間事業者により開園が予定されております認定こども園、２園の施設整備に対する補助を実施いたします。また、市が設置する保育園につきましては、良好な保育環境を確保するため、老朽化した施設の計画的な改修整備を推進いたします。平成２８年度におきましては内野保育園、木刈保育園及び高花保育園の空調設備更新に向け設計業務を実施してまいります。

新規事業といたしましては、不妊治療の経済的な負担の軽減を図るため、特定不妊治療費の一部に対する助成を実施してまいります。

次に、高齢者への支援でございますが、地域包括ケアシステムの構築に向け、市が中心となって、地域の実情に応じて、住民等の多様な主体が参画し、様々なサービスを実施することにより、地域の支え合いの体制づくりを推進し、効率的かつ効果的な支援等を図るため介護予防・日常生活支援総合事業を実施してまいります。

次に障がいのある方への支援でございますが、社会活動への参加や就労機会の拡大を図り、社会的、経済的な自立を支援するため、印旛高校跡地を活用し、（仮称）障がい者サポートセンターの整備をいたします。

市民の健康管理につきましては、市民の皆様が元気に、安心して、いきいきと生活することができるよう、子ども医療費助成事業、がん検診事業、予防接種事業を引き続き実施してまいります。

次に、基本目標３「地域の持つ可能性を活かした魅力あるまちをつくる」について申し上げます。

本市は、東京や成田国際空港に近い立地優位性や強固な地盤に加え、企業の様々な需要に対応できる広大な区画面積を最大限活用し、関係機関と連携することにより、積極的に企業誘致を進めているところでございます。世界有数の大型物流企業である

グッドマンジャパンやプロロジスなどの進出もいただいているところで、今後優良企業の更なる誘致により、産業振興並びに雇用、税収などの面で効果が期待できるものと考えております。

また、農業従事者の高齢化が急速に進む中、持続的な農業を実現させるには、若年層の新規就農者を増加させる必要があります。そのため新規就農者に対する給付金の給付により、経営の安定化を図り、青年就農者の増加を促進します。

また、農業版ハローワークや農業研修を引き続き実施してまいります。

加えて、鳥獣被害対策事業として、有害鳥獣による農作物の被害を防止するため、関係機関と連携を図りながら、計画的な捕獲及び防護柵の設置等を実施してまいります。

また、観光振興対策事業といたしまして、多様な媒体を活用した観光情報の発信や観光客の誘致活動、観光サインや散策ルートの整備による観光資源のネットワーク活用など観光推進体制の強化を引き続き実施するとともに、平成２８年度は観光ガイドマップを作成いたします。

次に、基本目標４「健やかな心と体を育み未来を拓くまちをつくる」について申し上げます。

印西の学校教育の特色をより一層打ち出しながら、子どもたちの健やかな成長を目指すため、きらり輝く印西の子供育成事業を引き続き実施してまいります。

また、小学校における英語の教科化に向けた環境整備のため、３校を研究指定校といたしまして研究を進めてまいるとともに、今年度から実施いたしましたイングリッシュキャンプを引き続き実施してまいります。

教育環境の整備といたしましては、小中学校における楽器の買い替え及び新規購入、小学校における教育用パソコンの入れ替え、木刈小学校及び船穂中学校の大規模改修工事を実施いたします。

また、安全で安心な給食の提供を図るため、（仮称）新学校給食センターの新築工事

並びに牧の原学校給食センター及び印旛学校給食センターの改修を行ってまいります。

更に、文化財保護調査事業として、市内の重要な遺跡や史跡、有形・無形の文化財を後世に継承していくため、地域の歴史や文化を広く公開するとともに、指定文化財の管理等における経費補助を拡充してまいります。

次に、基本目標５「快適で暮らしやすい都市機能の充実した美しいまちをつくる」について申し上げます。

木下駅周辺地区におきましては、中心市街地活性化基本計画及び印旛高校跡地活用基本計画に基づき、また小林駅周辺地区におきましては、小林地区活性化計画に基づき、それぞれの駅圏の地域特性を活かした地域の活性化を引き続き進めてまいります。

小林駅につきましては、引き続き市道１８－０４５号線の整備を行うとともに駅周辺地域の活性化、駅利用者の利便性の向上を図るため、南口自由通路の整備及び駅前広場の整備を行ってまいります。

また、公共交通網整備促進事業として、市民の身近な交通手段である、ふれあいバスにつきまして、引き続き６ルートを運行いたします。

また、北総線に関しましては、首都直下地震に備え、国土強靭化の観点から地震等における空港アクセス線及び市民等の安全輸送を確保するため、鉄道事業者が行う耐震化事業に要する経費の一部を国、県及び沿線自治体と協調して引き続き補助を行ってまいります。

また、運賃値下げにつきましては、様々な機会を捉え、北総鉄道株式会社に対し働きかけていくとともに、北総鉄道株式会社と協働し利用者を増やす施策についても推進してまいります。

また、本市の良好な景観の保全・形成・創出のため、市民、市民活動団体、地域、事業者等との協働により景観創出と環境美化に関する施策を一体的に推進いたします。

平成２８年度は（仮称）印西市景観計画策定委員会を設置し、景観に関する目標や方針、実現化の基本的な方針を定める「景観基本計画」を策定いたします。

基本目標６「市民と行政がともに歩み健全で自立したまちをつくる」について申し上げます。

市民が主体のまちづくりを進めていく中で、市民活動支援事業を引き続き推進してまいります。

町内会等に関しましては、活動拠点となる集会施設の整備・充実を図るため建設費等の一部を補助し、更に住民自治意識の高揚を図るとともに、市と町内会等の相互協力関係を推進するため、町内会等の設立や活動を支援してまいります。

また、公共施設につきましては、既存施設の整理統合及び計画的な維持管理等を図っていくため、公共施設等総合管理計画の策定を進めてまいります。

また、行政サービスの利便性の向上を図るために、個人番号カードを利用した住民票及び印鑑証明書のコンビニ交付について平成２９年度の実施に向け準備を行ってまいります。

基本構想の６つの分野ごとの主要事業の概要につきましては、ただいま申し上げましたとおりでございますが、本年、平成２８年は印西市が市制施行２０周年を迎える節目の年となります。

この節目の年を、市民の皆様とお祝いするため、平成２８年度にさまざまな記念事業を実施してまいります。

市制施行２０周年記念事業のキャッチフレーズは「世代を超えて未来を創る印西市」としており、あらゆる世代間の垣根を超えて、市民が一つとなり、未来へ向けて更なる市の発展を目指すという意味を込めたものでございます。

記念事業は４月２３日に記念式典を実施いたしまして、その後、特別事業として、市制施行２０周年を象徴する事業を行って参ります。

主なものといたしましては、記念ナンバープレートの発行、市のマスコットキャラクターである「いんざい君」のぬいぐるみ販売、テレビ番組「なんでも鑑定団」の出張鑑定の公開収録、中学生を海外に派遣する国際交流事業、利根川河川敷で実施する

花火大会、市にゆかりのある音楽家に出演いただく印西音楽祭、ＮＨＫのど自慢、国道４６４号北千葉道路を会場とする印西ふるさとハーフマラソン大会などを企画しております。

その他といたしまして、本年６月に、松山下公園野球場において、ソフトボール女子日本代表チームが「平成２８年度　女子ＴＯＰ日本代表チーム　第１次強化合宿」を実施することが決定いたしました。また、同月中に、同競技のカナダ代表チームが日本国内の実業団チームとの練習試合を実施する予定でございます。

ソフトボール競技につきましては、２０１８年に、世界選手権が千葉県内において開催されることになっており、さらに現在、２０２０年東京オリンピック・パラリンピックの追加種目として提案されている競技でもあります。

当市といたしましては、今回の２か国の代表チームの受入れを成功させ、２０２０年東京オリンピック・パラリンピックにおける事前キャンプ地の誘致につなげてまいります。

以上、平成２８年度の主要事業等についての概要を申し上げましたが、これらの事業を重点的に推進することにより、市の将来都市像として掲げる「ひと　まち　自然笑顔が輝く　いんざい」の実現に向けた魅力あふれるまちづくりに取り組んでまいる所存でございます。

結びに、これからも、市民の目線を第一とした市政運営を信条とし、議員の皆様とは、車の両輪の如く、十分な議論を行い、均衡ある行政運営を行うため、一部の考えを取り入れることなく、多くの議員の皆様と意志疎通を図り、印西市民のために、全力で取り組んでまいります。

市民の皆さま並びに議員各位のご理解とご支援をお願い申し上げまして平成２８年度の施政方針といたします。